

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)相模原市南区上鶴間本町四丁目プロジェクト	階数	地上7F
建設地	相模原市南区上鶴間本町四丁目1906番1外	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、準防火地域	平均居住人員	129 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年11月 予定	評価の実施日	2015年8月21日
敷地面積	1,672 m ²	作成者	株式会社IAO竹田設計
建築面積	826 m ²	確認日	2015年8月21日
延床面積	3,665 m ²	確認者	株式会社IAO竹田設計

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 0.9 ★★★★★</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算 ①参照値 100% ②建築物の取組み 81% ③上記+②以外の 81% ④上記+ 81%</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 2.6</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.1</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.9</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 1.8</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.6</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.1</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合 可能な限り植栽を設けることで自然豊かな環境とするとともに外部からの視線を遮るような植栽計画とし、プライバシーの確保に配慮している。 また、外壁色にアースカラーを多く採用する事で周辺環境の調和を意識した外観となるよう計画している。</p>		<p>その他 0</p>
<p>Q1 室内環境 ほぼ全面的にF☆☆☆☆又は規制対象外の建材を採用している。</p>	<p>Q2 サービス性能 100Mbitクラスのブロードバンド設備の設置が可能</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) 植栽により良好な景観を形成をしている。 また、敷地北側の自主管理広場において視線を遮らない植栽計画とし、防犯性に配慮している。</p>
<p>LR1 エネルギー LED照明の採用など設備システム効率化により、一次エネルギー消費率 BEI 共用部0.61 住居専用部 0.95の性能を満たす計画とし、設備システムの効率化を図っている。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル 節水便器の採用により水資源保護に配慮している。</p>	<p>LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO₂排出率=81%としている。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される